



平成 17 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川電子
代表者名 代表取締役社長 藤原 孝雄
(登録銘柄・コード番号 6838)
問合せ先 取締役 総務担当 八島 昭
(TEL . 0 4 6 7 - 7 6 - 2 2 9 1)

平成 18 年 3 月期中間及び期末業績予想の修正 並びに特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 9 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期中間(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)及び期末(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,555	58	28
今 回 修 正 予 想 (B)	1,147	94	323
増 減 額 (B - A)	408	152	351
増 減 率 (%)	26.2	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 16 年 9 月期)	1,476	1	52

2 . 修正の理由

- (1) 売上高につきましては、携帯電話の周波数帯域の再編に伴い、通信業者各社が設備の見直しのために、設備投資を控えたことにより、当中間期においては計画を 408 百万円下廻り、この結果 1,147 百万円となる見込みであります。
- (2) 経常利益につきましては、売上高が計画を下回ったことにより、固定費を吸収することができず、原価率が計画を上回り、その結果 94 百万円の損失となる見込みであります。
- (3) 当中間純利益につきましては、当期より減損会計を適用したことに伴い、平成 17 年 9 月 30 日をもって、山梨工場を閉鎖したことによる資産の減損及び遊休資産の減損を行ったこと並びに固定資産の除却・売却損など、特別損失に 226 百万円計上したことにより、323 百万円の損失となる見込みであります。

3 . 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	3,300	170	133
今 回 修 正 (B)	2,520	35	255
増 減 額 (B - A)	780	205	388
増 減 率 (%)	23.6	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 3 月期)	2,743	49	113

4. 修正理由

平成 18 年 3 月期の業績見通しにつきましては、売上高は、当期上半期においては携帯電話の周波数帯域の再編に伴い、通信業者各社が設備投資を控えたことにより、需要が減少しましたが、下期においては、急激に需要が回復傾向に向かっております。又、海外向け需要につきましても受注引き合いが具体化の方向にあり、これらの要因を勘案し、通期で 2,520 百万円を見込んでおります。

経常利益につきましては、平成 17 年 9 月 30 日をもって山梨工場及び秋田技術研究所を閉鎖し、固定費の削減を図るとともに、開発・生産の拠点を本社工場に集約し、開発及び製造の効率を上げ、原価率の向上を図ることにより、通期では 35 百万円を見込んでおります。

当期純利益につきましては、当期上期において、山梨工場閉鎖に伴う固定資産の減損等により、特別損失に 226 百万円を計上したことにより、255 百万円となる見込みであります。

なお、期末配当につきましては、当社は安定且つ継続的に配当することを基本方針としておりますが、将来の業績動向なども踏まえ、検討中であり、決定次第お知らせする予定であります。

以 上